



# NIKKO

## 日光山内探訪 世界遺産の旅

- 日光東照宮
- 日光山輪王寺
- 日光二荒山神社



**ACCESS 交通のご案内**

QRコードを読みとると、出発地から目的地までのルートや、所要時間などのアクセスを検索できます。

**新宿・浅草から約2時間**

●電車をご利用の場合 日光へのアクセスは直通運転で便利な東武鉄道・JR東日本で

浅草	とうきょうスカイツリー	北千住	春日部	東武日光
約3分	約10分	約20分	約30分	

【JR・東武直通特急】

新宿	池袋	浦和	大宮	東武日光
約6分	約17分	約7分	約90分	

【新幹線】

羽田空港	東京モノレール	浜松町	山手線	東京	東北新幹線	宇都宮	日光線	日光
約17分		約5分		約50分		約43分		

成田空港

成田空港	成田エクスプレス	日光
	約60分	

※所要時間は列車により異なります。

●お車をご利用の場合

浦和IC	東北自動車道	宇都宮IC	日光	宇都宮道路	日光IC	宇都宮道路	清滝IC	日光
約98km		約25km		約6km				

世界遺産「日光の社寺」

**世界遺産「日光の社寺」を回るなら 世界遺産めぐりバスが便利**

JR日光駅、東武日光駅を起点に、二社一寺の最寄りバス停を循環する「世界遺産めぐりバス」を活用しよう。日中はおよそ10～20分に1本間隔で運行。コース内と、JR日光駅～東武日光駅～西参道～蓮華石間が1日乗り降り自由になる「世界遺産めぐり手形」がお得。

大猷院・二荒山神社前

勝道上人像前

東照宮東参道入口

ホテル清晃苑前

西参道茶屋

表参道

神橋

東武日光駅

蓮華石

西参道

12

7

1

JR日光駅

※土・日・月・祝日および社寺大祭等開催時は、経路変更での運行となります。

世界遺産のまち「日光」のご案内は

一般社団法人 日光市観光協会 TEL.0288-22-1525 FAX.0288-25-3347  
URL.http://www.nikko-kankou.org

〒321-1261 栃木県日光市今市717-1 ..... 公式WEBサイト「日光旅ナビ」 日光旅ナビ 検索

## 旅人を魅了する絢爛豪華な趣。日光山内をそぞろ歩く

奈良時代に僧侶・勝道上人（しょうどうしようにん）によって開山された日光は、山岳修験道の霊場として1200年以上にわたる千古不易の歴史を紡いでいます。大谷川北岸に四本龍寺（しほんりゅうじ）を創建し、その後、男体山山頂に創建した小さな祠（ほこら）は、日光二荒山神社奥宮の始まりとされています。さらに、中禅寺湖畔に神宮寺（現・日光山中禅寺）を創建したのち、日光三所権現を勧請しました。江戸時代に入ると日光山内は文化や経済の中心地として発展し、後の世界遺産の礎となる社寺が築かれます。世界遺産に登録された建造物群は唯一無二の存在で、その絢爛豪華な趣は、多くの旅人を魅了し続けています。



**日光山内おすすめコース**

所要時間 3時間

門前町に一番近い日光山輪王寺本堂の三仏堂から日光東照宮、日光二荒山神社、日光山輪王寺大猷院をめぐるコース。日光東照宮の奥宮までめぐるなら、プラス30分、多めに時間をみておきましょう。

1 勝道上人像前

2 日光山輪王寺

3 日光東照宮

4 日光二荒山神社

5 日光山輪王寺大猷院

6 大猷院・二荒山神社前

「にっこうとうしゅうぐう」

# 日光東照宮

1617(元和3)年、二代将軍・徳川秀忠公により東照社(現・日光東照宮)が建立され、初代将軍・徳川家康公の御霊が久能山から遷座されました。江戸城の真北にあり、北方の守りを固める重要な場所に位置しています。



全国各地から集められた名工の手により綿密に彫られた彫刻は必見!!

現在の主な社殿群は、二代将軍・徳川家光公が行った「寛永の大造替」の際に建て替えられました。境内には国宝8棟、重要文化財34棟を含む計55棟の建造物が建ち並び、極彩色に彩られた建物は荘厳な宗教的空間をつくり出しています。これらの社殿群は1999(平成11)年に世界文化遺産に登録されました。

## 陽明門

「平成の大修理」で極彩色の輝きを取り戻した国宝・陽明門は、いつまで見ても見飽きないことから「日暮の門」とも呼ばれています。門の随所に故事逸話や聖人賢人、唐子などの彫刻が施され、その数500以上とされています。



## 三猿

神威舎の長押に彫られた猿の彫刻は人間の一生を風刺しています。中でも「見ざる、言わざる、聞かざる」の三猿が有名です。



## 眠り猫

家康公が眠る奥社に通じる、東回廊の門の上に据えられた猫の木彫像。伝説の名工・左甚五郎の作と伝えられています。

## 御朱印

日光東照宮では2種類の御朱印が授与されます。



## 五重の塔

1650(慶安3)年、初代若狭小浜藩主の酒井忠勝公によって奉納されました。現在の塔は江戸後期に再建されたもので、高さは36m。1〜4層までが和様で、最上の5層のみ唐様で造られています。



## 心柱

心柱は懸垂式(吊り下げ式)で礎石から約10cm浮いています。

# 日光山輪王寺

巨大な三仏坐像を、間近に仰ぎ見る迫力



▲ 右から、千手観音(男体山)、阿彌陀如来(女峰山)、馬頭観音(太郎山)の三体の仏像を祀る

## 三仏堂

日光山内最大の木造建築物。2019年に平成の大修理が終了しました。全国でも珍しい天台密教形式の御堂は、日光山の総本堂でもあり、日光三所権現本地仏のご本尊が祀られています。



## 大護摩堂

本堂(三仏堂)の裏手にある日光山輪王寺の中心的な祈祷道場。5回護摩祈祷が行われます。



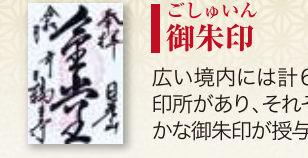
## 逍遙園

琵琶湖を模して作庭したとされる日本庭園は、江戸初期の大名茶人・小堀遠州の作と伝えられています。



## 御朱印

広い境内には計6カ所の御朱印所があり、それぞれに趣き豊かな御朱印が授与されます。



# 日光山大猷院

家光公の霊廟を守る四体の夜叉



## 夜叉門

夜叉門には四体の夜叉が安置され、家光公の霊廟を守っています。牡丹の花が彫刻されていることから「牡丹門」とも呼ばれています。



- 烏摩勒伽** 破魔矢のルーツの弓矢を持つ
- 毘陀羅** 斧を持ち、憤怒の相相で威嚇
- 毘陀羅** 金の衣装と膝のナマズが特徴
- 阿跋摩羅** 緑の体に白虎の皮を巻く



**持国天** 東を護る守護神。増長天とともに「四天王」の一人。  
**増長天** 南を護る守護神。踏みつけている鬼は天邪鬼(あまのじゃく)。

## 二天門

増長天と持国天を祀る二天門は、世界遺産「日光の社寺」で最大の楼門です。2019(平成31)年3月、風神・雷神の複製像が完成し、安置されました。

# 日光二荒山神社

開運・縁結び・安産にご利益がある神仏習合の中心



▲ 黒漆塗りの屋根、弁柄漆塗りの柱、鍔金具などの修理を終えて輝きを放つ本殿



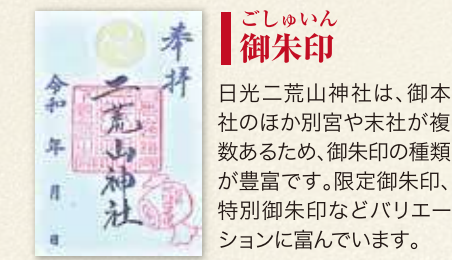
## 二荒霊泉

恒霊山から湧き出す「薬師の霊泉」と、滝尾神社から湧き出す「酒の泉」の2つの水脈を引き込んだ御霊水です。健康や若返りの泉とされ、ひしゃくを使って飲めるほか、持ち帰りもできます。



## 大国殿

全国でも珍しい、幸運の「招き大国」が祀られています。参拝者は「打出の小槌」を振って願いごとを祈願します。



**御朱印** 日光二荒山神社は、御本社のほか別宮や末社が複数あるため、御朱印の種類が豊富です。限定御朱印、特別御朱印などバリエーションに富んでいます。

御本社・滝尾神社・本宮神社を「日光三社」といい、ここは聖地日光の原点です。山内にある御本社の社殿はすべて重要文化財に指定され、1619(元和5)年創建の本殿は日光最古の建造物とされています。二代将軍・徳川秀忠公が造営した優美な八棟造は、2020(令和2)年秋に大規模修理が完了し、令和の世に色鮮やかによみがえりました。

1200年以上前、日光開山の祖・勝道上人が二荒山(現・男体山)に登拝し、本宮(現・本宮神社)を建立したのが始まりとされる古社。主神の大己貴命(おおむちのみこと)は縁結びの神様として知られています。

## 縁結びの御神木

日光二荒山神社の「縁結び」と関係が深い、スギの木にナラの木が「宿り木」として生えている巨木です。「すぎ(き)なら一緒に」という願いが込められています。

## 神橋

聖地日光の表玄関を飾る朱塗りの橋・神橋は、日光二荒山神社の建造物です。国の重要文化財にも指定され1999(平成11)年には世界遺産にも登録されました。清流・大谷川に架かる木造の橋は、その建築様式の特徴から「日本三奇橋」の一つに数えられています。現在は年間を通して夕方〜夜9時までライトアップされています。

